

「家族でやま学の日」について

山口県では、未来につながる家庭での体験的な学び・探究的な学びを応援するために、「家族でやま学の日」を導入します。

「やま学」とは、「やまぐち型地域体験・探究学習」の略称です。「やまぐちで学ぶ」「やまぐちを学ぶ」をモットーに、平日だからこそできる学校外での学習活動を、お子さんと一緒に計画してみませんか。

「家族でやま学の日」とは…

- 山口県全体のワーク・ライフ・バランスの充実をめざした、新しい学び方・家族との過ごし方です。
- 山口県内の公立学校（小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校）に通う児童生徒が、学校休業日以外に家族とともに、校外（家庭や地域）での体験や探究の学び・活動を考え、企画し、実行することができる日が、「家族でやま学の日」です。
- 保護者の休暇に合わせて、事前に申請手続きを行うことで取得できます。（年間3日以内）
- 校外での自主学習活動であるため、欠席とはならず、「出席停止等」と同じ扱いとなります。

◆ 活用までの流れ ◆

① 計画を立てよう

- ・ どこへ行くか、何を学ぶかなど、家族で一緒に計画を考えましょう。
- ・ 計画をもとに、申請の準備をしましょう。

② 申請手続きをしよう

- ・ 出かける前に、申請手続きをしましょう。
- ・ 校長の承認を受ければ、手続きは完了です。

③ 「家族でやま学の日」を満喫しよう

- ・ 体験的・探究的な学びを楽しみましょう。

④ 振り返ろう

- ・ 帰宅後、活動の振り返りを行い、今後の学校生活や日常生活にどのように生かしていくか、家族で話をしましょう。



◆ 留意点 ◆

- 「家族でやま学の日」は、事前に申請手続きを行う必要があります。（原則として一週間前まで）
- 学校ごとに、学校行事や定期考査などのため「家族でやま学の日」を認めることができない日があります。詳しいことは、学校へお問い合わせください。
- 「家族でやま学の日」を活用したことで受けられなかった授業内容は、原則、家庭で補うこととなります。また、その日の各授業の出欠記録は、出席扱いではなく「欠課」となります。

★「家族でやま学の日」の活動のポイント★

- 家族で「一緒に過ごす時間」が大切です。
- 「何を学ぶか」を事前に親子で一緒に話し合ってみてください。
- 遠くへ行かなくても、身近な地域にも「学びの種」はあふれています。

【学びのキーワード】

自然・科学・環境・実験・観察・産業・スポーツ・文化・芸術・歴史・地理・
伝統芸能・国際理解・福祉・SDGs・見学・創作・鑑賞・キャリア教育…等

◆地域の史跡めぐり◆



地域ガイドと一緒に史跡をめぐり、地元の歴史について学び、新聞やスライドにまとめてみよう

◆身近な植物調査◆



家の周りの植物について図鑑やインターネットを使って調べ、分布や季節による違いを整理してみよう

◆いろいろな表現で◆



家族で使う食器など、自由な発想で形作り、実際に使ってみた感想を共有しよう

◆家族で農業体験◆



収穫した野菜などを使ったオリジナル献立を考え、調理を計画して、家族にふるまってみよう

◆自然を感じる◆



山や川、海などの自然に触れ、そこでしかできない体験を試みたり、写真などの記録におさめたりしてみよう

◆新たなスポーツへの挑戦◆



普段学校では経験できないニュースポーツに、家族みんなで挑戦したり、独自のルールを考案したりしてみよう

「家族でやま学の日」Q&A

Q1 「家族でやま学の日」を連続して取ることはできますか？
また、残った日は、次年度に繰り越すことはできますか？

連続して取ることはできますが3日が上限です。また、残った日数を次年度に繰り越すことはできません。

Q2 急遽休みが取れることになった場合、前日に「家族でやま学の日」を申請することはできますか？

原則として一週間前までの申請としていますが、学校にご相談ください。しっかりとした計画を立てて学習活動を行っていただきたいので、早めの申請をお願いします。

Q3 「家族でやま学の日」に、旅行に出かけてもよいのですか？

やま学(やまぐち型地域体験・探究学習活動)ですので、「体験」「探究」の学びの要素が必要です。「楽しかった」だけの取組にならないよう家族でよく話し合い、「何を学ぶため、どこで、どのような体験や探究に取り組むのか」など、計画を立てて実行に移すことが重要です。

.....【お問い合わせ先】.....

■制度全般に関すること

山口県教育庁 高校教育課

☎083-933-4627

特別支援教育推進室

☎083-933-4615

■申請手続き等に関すること

各学校の担任や教頭まで